

経営比較分析表（平成28年度決算）

埼玉県 皆野・長瀬下水道組合

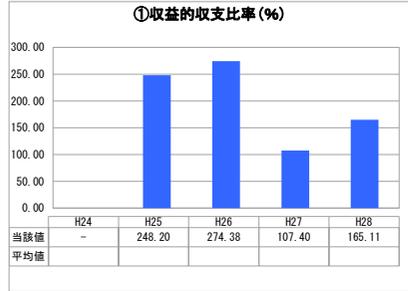
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	38.75	100.00	2,052

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,743	88.94	75.82

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



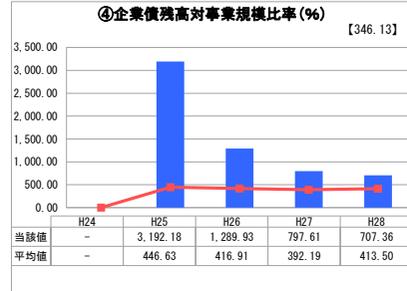
「単年度の収支」



「累積欠損」



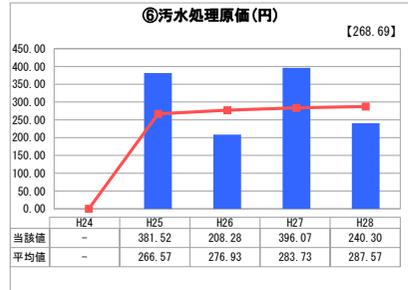
「支払能力」



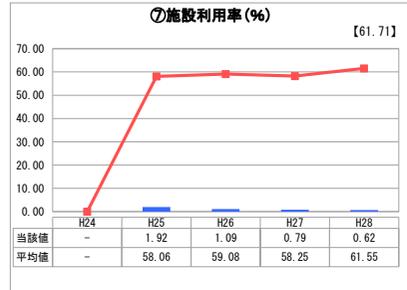
「債務残高」



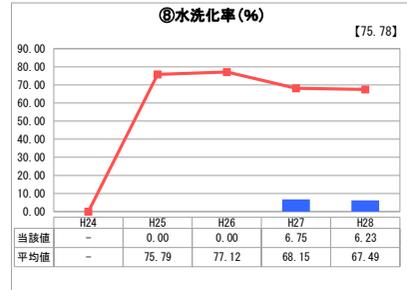
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

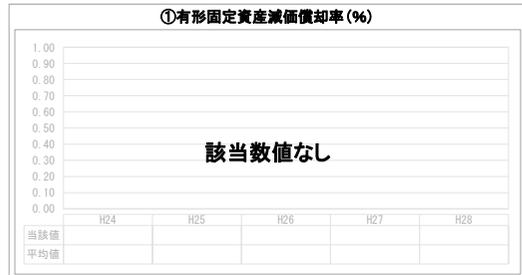


「施設の効率性」

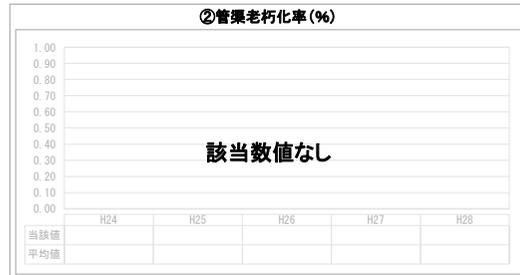


「使用料対象の捕捉」

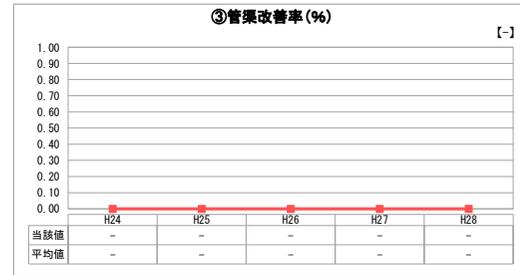
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は平成27年度に大きく減少したとはいえ平成28年度には若干持ち直した。少しずつではあるが、浄化槽設置基数の増加の表れだと思われる。

企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値よりも高く、使用料収入等では採算がとれず、起債収入にも頼っている状況が読み取れます。また平成25年度に関しては事業開始年度であり、設置費用がかかって料金収入が遅れて入ってくるため異常値となってしまうのですが、ここ数年で落ち着きを取り戻しています。

経費回収率は類似団体とは数値が大きく乖離してしまっており、投資規模は適切か、料金水準は適切かなどを検討し経営改善していかねばいけないと考えております。

施設利用率は低く事業がはじまったばかりということもありますが、設置基数は確実に増加している状況です。今後はより多くの人に認知してもらい利用向上を目指す経営戦略が必要であると考えています。

2. 老朽化の状況について

該当なし

全体総括

当組合では、平成25年度より市町村整備型浄化槽事業が開始されました。まだ事業が開始されてまもないこともあり、設置数、経費回収率などが低い状態にあります。地域の環境保全の為に設置件数を1件でも多く合併浄化槽の設置していただけるように職員全員で普及活動をとっておこなっていききたいと思います。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。